



株式会社DDホールディングス

2019年2月期第3四半期
決算補足説明資料

2019年1月16日

証券コード：3073

連結業績トピックス



【わらやき屋 九段下】

1

前年同四半期の営業利益率 0.4point 改善

→主な要因は前期ホールディングス化に伴う一過性費用を当期計上しなかったこと

2

アミューズメント事業が堅調に推移、既存店昨対比104.0%

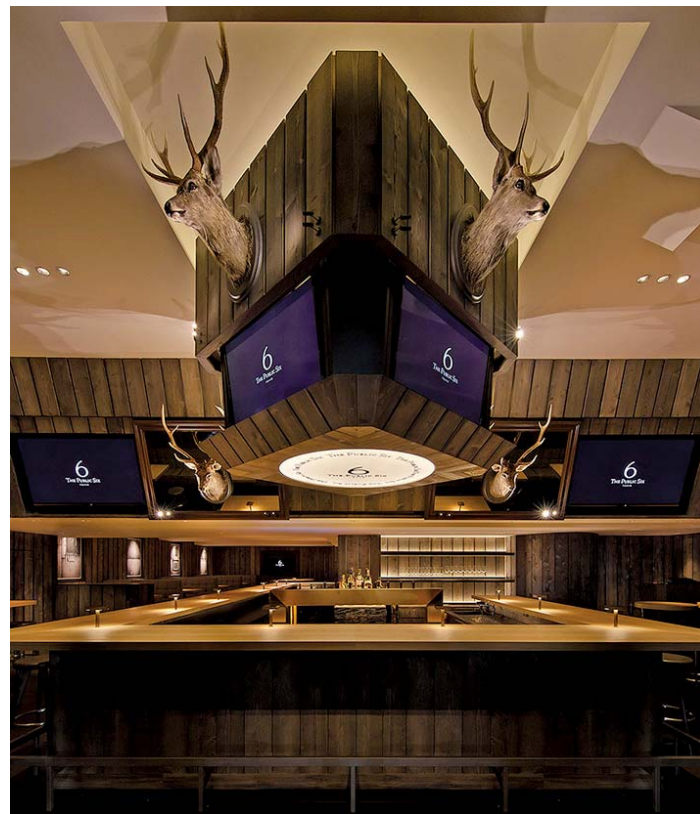
→継続したサービス向上を行うことで、客数・客単価ともに前年を超過

3

飲食セグメントのウェディング事業が計画とおり堅調に推移

→飲食セグメント既存店昨対比内訳：ウェディング 247.1%、飲食 98.0%

連結業績



【THE PUBLIC SIX】

連結業績（累計会計期間）



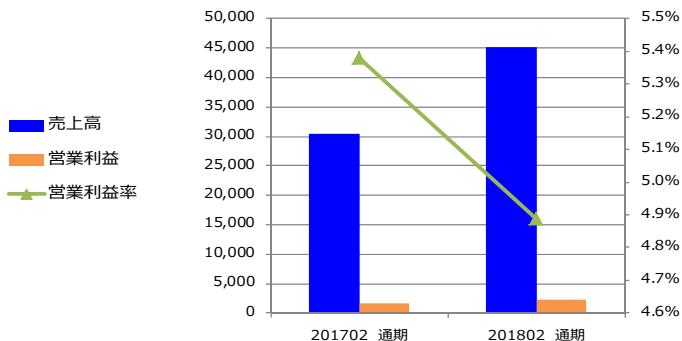
（単位：百万円）

科目名	2018年2月期	2019年2月期	増減額	増減率	コメント
	3Q(累計)	3Q(累計)			
売上高	32,763	38,190	5,426	16.6%	（累計昨対比）飲食 98.5%、アミューズメント 103.8% ①(株)ゼットンと(株)商業藝術の第1四半期会計期間の売上高 ②ウェディング事業及び前期新規出店店舗の売上高
売上原価	7,614 23.2%	9,299 24.4%	1,685	22.1%	（増加した主な要因） ①2017年11月の酒税法改正による仕入原価上昇 1.1point ②既存事業より原価率の高いウェディング事業の構成比増加
売上総利益	25,149 76.8%	28,890 75.6%	3,740	14.9%	▲1.1point
販売費及び一般管理費	23,384 71.4%	27,434 71.8%	4,050	17.3%	（増加した主な要因） ①消耗品費率及び不採算退店に伴う家賃比率の減少▲0.6point 0.5point ②売上高減少による人件費率及び販促費率の増加1.0point
営業利益	1,765 5.4%	1,456 3.8%	▲ 309	-17.5%	▲1.6point
経常利益	1,788 5.5%	1,470 3.8%	▲ 318	-17.8%	持分法適用関連会社である(株)エスエルディーに係る 「持分法投資損益」の当第3四半期計上額 94百万円 ▲1.6point
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,097 3.3%	1,123 2.9%	26	2.4%	▲0.4point

連結業績



通期

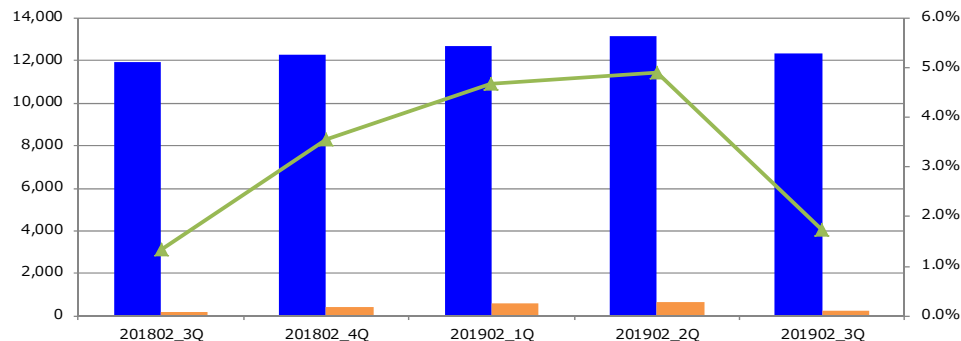


	2017年 2月期 (通期)	2018年 2月期 (通期)
--	-------------------	-------------------

売上高	30,509	45,077
売上原価	6,408	10,570
売上総利益	24,101	34,506
販売費及び一般管理費	22,460	32,301
営業利益	1,641	2,204
経常利益	1,435	2,223
親会社に帰属する四半期/当期純利益	648	1,010
EBITDA	2,766	3,629
(ご参考) のれん償却費控除前営業利益	1,738	2,355

四半期会計期間

(単位：百万円)



2018年2月期		2019年2月期		
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
11,912	12,313	12,682	13,147	12,360
2,892	2,956	3,089	3,181	3,028
9,019	9,357	9,592	9,966	9,332
8,861	8,917	8,996	9,321	9,116
158	439	595	644	215
175	434	558	640	271
7	▲86	339	639	144
565	862	961	1,021	611
206	487	644	693	263

※注 EBITDA=営業利益+減価償却費+リース資産償却費+ソフトウェア償却費+権利金償却費+のれん償却費+繰延資産償却費

セグメント別業績



通期

	2017年	2018年	
	2月期 (通期)	2月期 (通期)	
国内飲食	売上高	21,064	34,846
	営業利益	2,406	3,656
	営業利益率	11.4%	10.5%
海外飲食	売上高	1,416	1,511
	営業利益	▲ 181	▲ 96
	営業利益率	-	-
アミューズメント	売上高	8,029	8,719
	営業利益	1,118	1,538
	営業利益率	13.9%	17.6%
全社	売上高	30,509	45,077
	営業利益	1,641	2,204
	営業利益率	5.4%	4.9%

四半期会計期間

(単位: 百万円)

	2018年2月期		2019年2月期		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
	9,439	9,664	10,038	10,389	9,732
	710	882	863	896	590
	7.5%	9.1%	8.6%	8.6%	6.1%
	369	373	350	381	381
	▲ 15	▲ 51	▲ 14	▲ 8	▲ 20
	-	-	-	-	-
	2,102	2,274	2,293	2,376	2,246
	268	405	419	496	332
	12.7%	17.8%	18.3%	20.9%	14.8%
	11,912	12,313	12,682	13,147	12,360
	158	429	595	644	215
	1.3%	3.5%	4.7%	4.9%	1.7%

注 ゼットンの海外飲食事業は連結上、国内飲食に含んでおります。

同四半期四半期実績 (2019年2月期3Q) 対比

【国内・海外飲食】

- (売上高)** 国内の主たる要因として、飲食事業は9月に発生した天災等の影響を受け既存店昨対比98.0%となるものの、前期新規出店店舗及び昨対比で247.1%となったウェディング事業の寄与による増加となりました。海外においては、新規出店分の寄与による増加となりました。これらの結果304百万円増となりました。
- (営業利益)** 国内飲食事業においては、ウェディング事業は計画とおり順調に推移しているものの、上述した売上高の影響及び2017年11月の酒税法改正による原価率の上昇(9月~10月は改正月対象外)の影響により原価率が0.4ポイント上昇したこと及び販売促進費0.5ポイント上昇したこと等が営業利益率1.4ポイント減少した主な要因であります。

【アミューズメント】

- (売上高)** 主たる要因として、既存店昨対比104.0%と堅調に推移していること及び前期新規出店店舗の売上高が寄与したことによる増加であります。
- (営業利益)** 個室の改修や各種キャンペーンの効果により、既存店売上高が好調に推移したことに伴う営業利益率の増加であります。

主要係数



	2017年	2018年	2018年2月期		2019年2月期		(単位: 百万円)
	2月期 (通期)	2月期 (通期)	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上原価率	21.0%	23.4%	24.3%	24.0%	24.4%	24.2%	24.5%
販管費率	73.6%	71.7%	74.4%	72.4%	70.9%	75.8%	75.5%
営業利益率	5.4%	4.9%	1.3%	3.6%	4.7%	4.9%	1.7%
(ご参考) のれん償却控除前営業利益率	5.7%	5.2%	1.7%	4.0%	5.1%	5.3%	2.1%
経常利益率	4.7%	4.9%	1.5%	3.5%	4.4%	4.9%	2.2%
EBITDA	2,766	3,629	565	862	961	1,021	1,021
	通期		四半期累計期間				
	2017年	2018年	2018年2月期		2019年2月期		(単位: 百万円)
	2月期 (通期)	2月期 (通期)	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
有利子負債額	9,679	14,255	13,694	14,255	14,678	14,190	13,998
ネットD/Eレシオ (倍)	1.2	1.7	1.8	1.7	1.6	1.4	1.4
自己資本比率	20.8%	20.3%	18.7%	20.3%	19.9%	20.3%	21.2%

【売上原価率】 前同四半期と比較して売上原価率が上昇した要因として、アミューズメントセグメントは既存店が好調に推移したこと等の影響により0.5ポイント減少いたしました。しかしながら、国内外飲食セグメントは、ウェディング事業が計画とおり順調に推移したものの、国内飲食事業に対し比較的原価率が高い事業であることから、全社として、0.2ポイント増加いたしました。

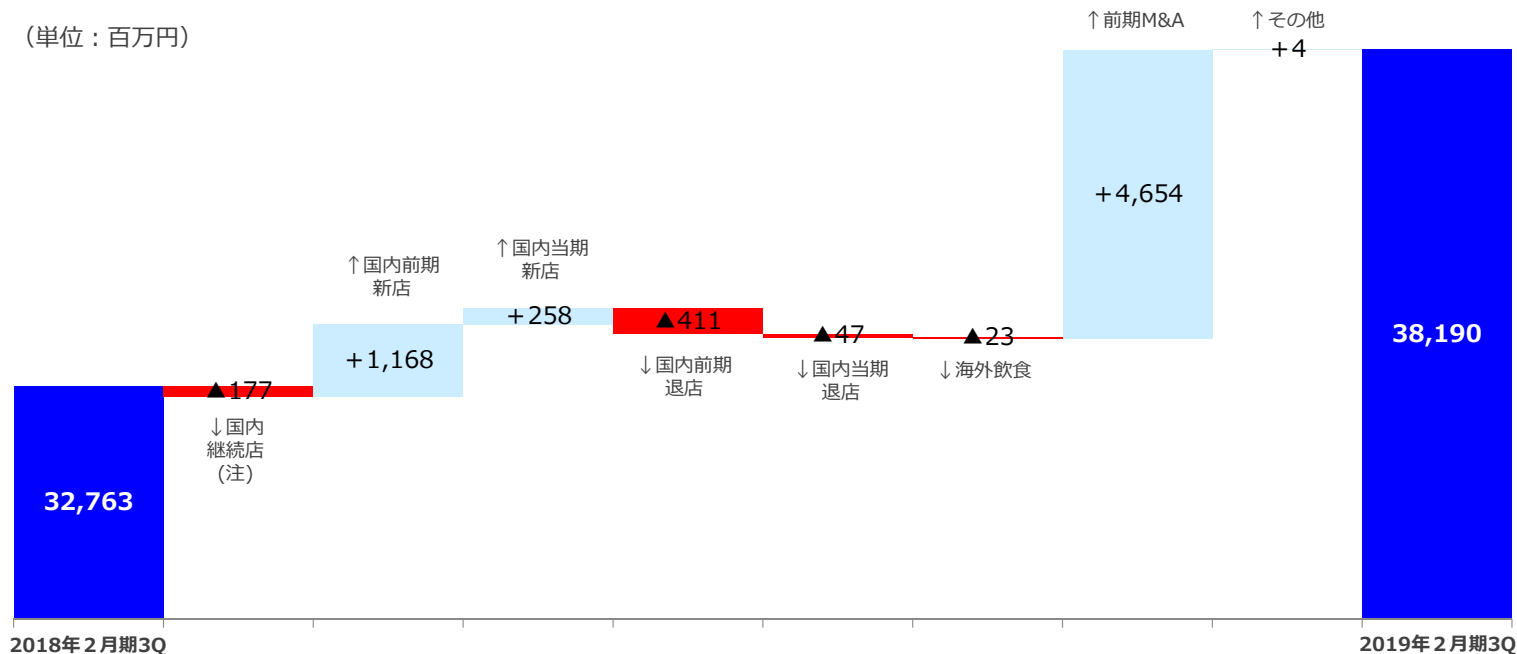
【経常利益率】 前期に持分法適用関連会社となった㈱エスエルディーの持分法投資損失▲94百万円を計上したことが主な要因であります。

【有利子負債額】 前期第2四半期以降にM&Aを実行した㈱商業藝術、㈱エスエルディーのM&A資金や、新規事業及び新規出店等に係る資金の銀行借入等の返済により▲256百万円

売上高対前年増減要因

前期第2四半期より連結対象となった2社（前期M&A）の第1四半期会計期間の売上高が寄与。また、昨年開業したウェディング事業（国内前期新店）が計画通り推移したことにより増収。

（単位：百万円）

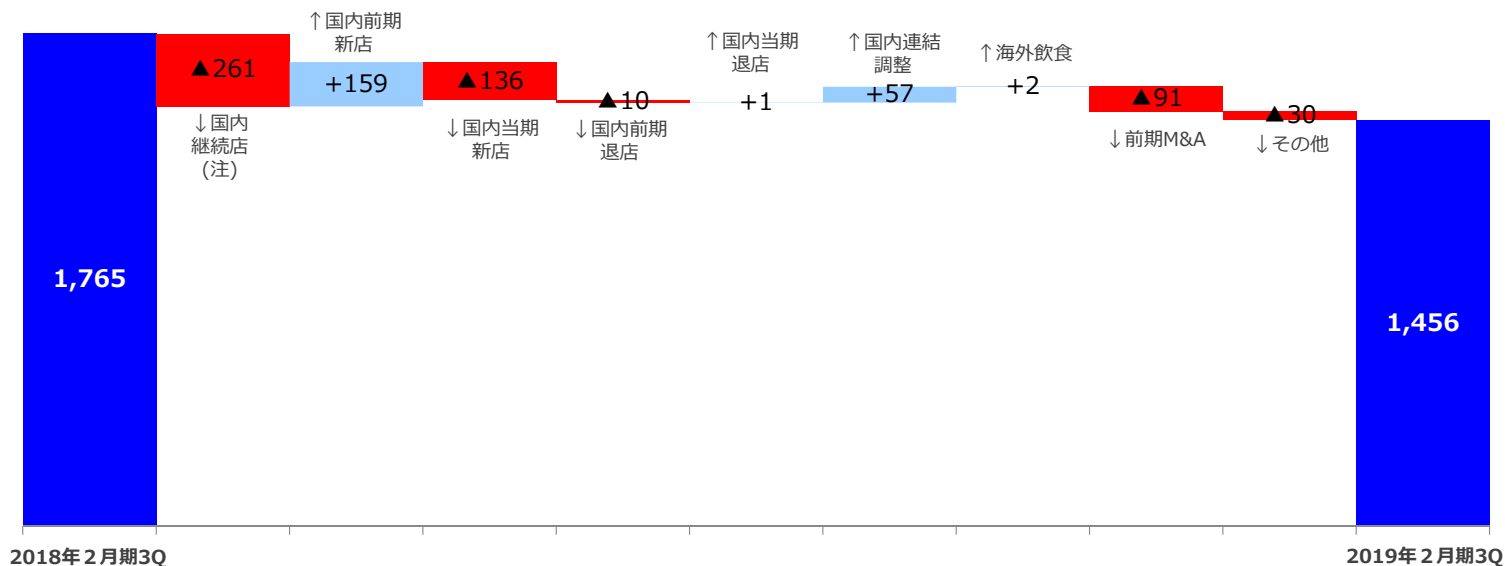


※注 国内継続店とは2018年2月末日時点で継続して1年以上営業している国内の店舗とする（前期新店を除く）

営業利益対前年増減要因

天災等の影響により国内飲食既存店（国内継続店）昨対比98.5%による売上総利益減したものの、前期開店したウェディング事業（国内前期新店）が計画通り推移。

（単位：百万円）



※注 国内継続店とは2018年2月末日時点で継続して1年以上営業している国内の店舗とする（前期新店を除く）

(単位：千円)

	2018年 2月期	2019年 2月期3Q	前期比増減		2018年 2月期	2019年 2月期3Q	前期比増減
流動資産	7,714,150	9,310,558	1,596,408	有利子負債	14,255,670	13,998,979	▲ 256,691
現金及び預金	4,737,014	5,991,223	1,254,208	その他流動負債	7,416,161	7,068,896	▲ 347,265
その他流動資産	2,977,136	3,319,335	342,199	負債合計	21,671,832	21,067,875	▲ 603,957
固定資産	19,645,481	17,876,590	▲ 1,768,891	株主資本	4,683,352	5,692,925	1,009,572
有形固定資産	7,605,796	7,521,088	▲ 84,707	利益剰余金	3,367,423	4,376,243	1,008,820
無形固定資産	3,239,538	3,126,542	▲ 112,996	その他の包括利益累計額	925,404	123,519	▲ 801,884
のれん	3,120,039	3,006,400	▲ 113,639	非支配株主持分	372,459	547,342	174,883
投資その他資産	8,800,146	7,228,959	▲ 1,571,187	純資産合計	5,981,215	6,363,787	382,571
繰延資産	293,416	244,513	▲ 48,902	負債・純資産合計	27,653,048	27,431,662	▲ 221,385
資産合計	27,653,048	27,431,662	▲ 221,385				

【増減主要要因】

(資産) 主な要因といたしましては、現金及び預金が1,254,208千円増加したものの、投資有価証券、未収入金がそれぞれ1,298,272千円、225,222千円減少したこと等によるものであります。

(負債) 長期借入金が1,174,237千円増加したものの、短期借入金、繰延税金負債、1年内償還予定の社債、1年内返済予定の長期借入金がそれぞれ1,050,000千円、381,933千円150,000千円、123,071千円減少したこと等によるものであります。

売上高及び既存店推移

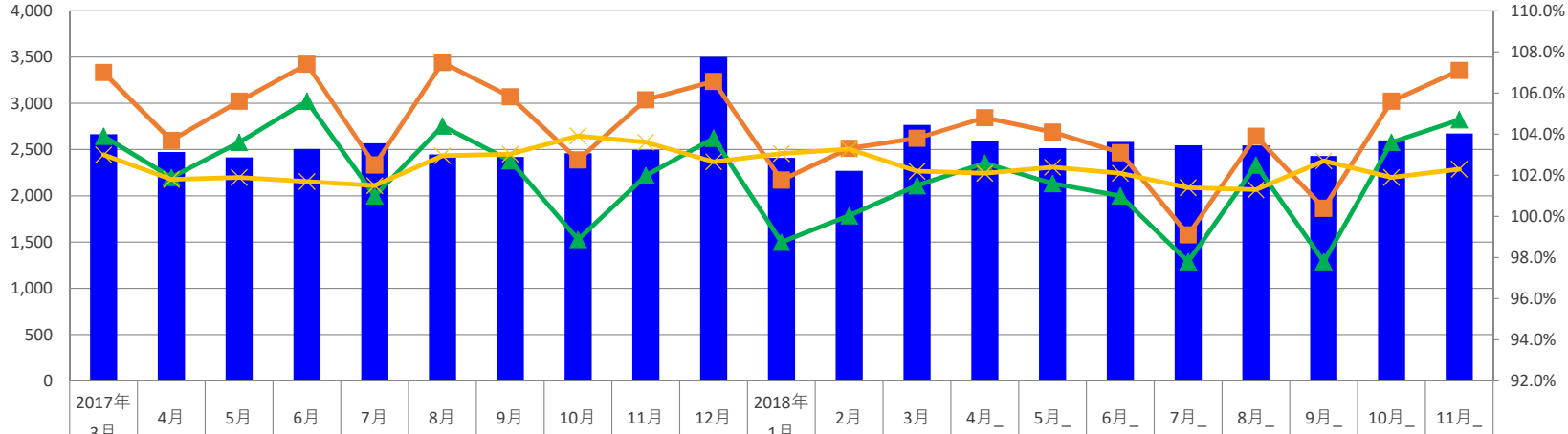


【九州熱中屋 上野LIVE】

国内全店 売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)
4,000



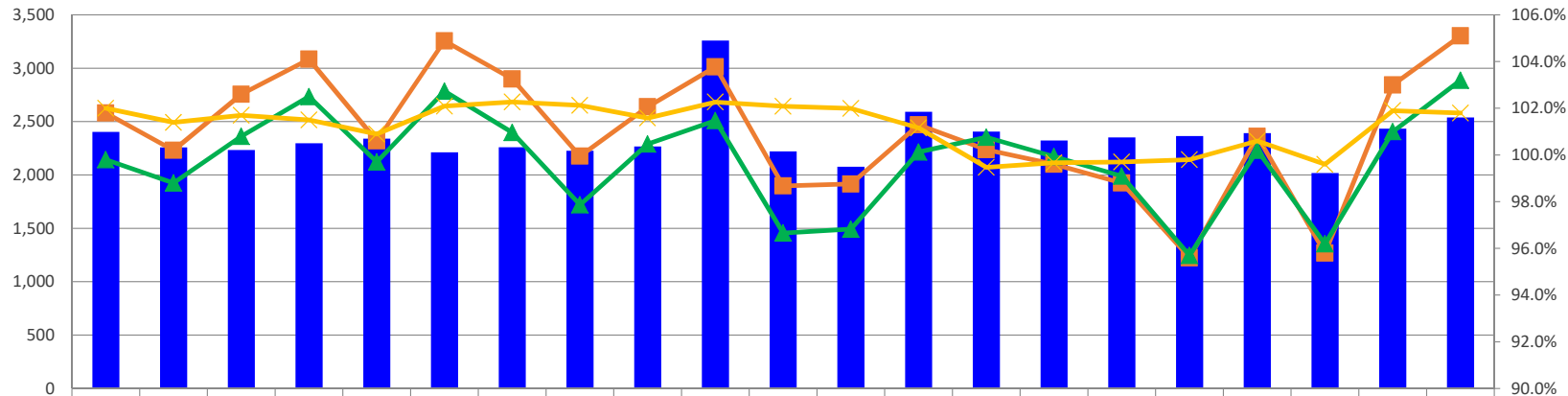
売上高	2,667	2,473	2,417	2,507	2,569	2,448	2,420	2,461	2,497	3,501	2,412	2,270	2,767	2,592	2,515	2,583	2,546	2,545	2,431	2,600	2,675
売上高	107.0%	103.7%	105.6%	107.4%	102.5%	107.5%	105.8%	102.7%	105.7%	106.6%	101.8%	103.3%	103.8%	104.8%	104.1%	103.1%	99.1%	103.9%	100.4%	105.6%	107.1%
客数	103.9%	101.9%	103.6%	105.6%	101.0%	104.4%	102.7%	98.9%	102.0%	103.8%	98.7%	100.0%	101.5%	102.6%	101.6%	101.0%	97.8%	102.5%	97.8%	103.6%	104.7%
客単価	103.0%	101.8%	101.9%	101.7%	101.5%	103.0%	103.0%	103.9%	103.6%	102.7%	103.1%	103.3%	102.2%	102.1%	102.4%	102.1%	101.4%	101.3%	102.7%	101.9%	102.3%

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q
売上高	105.5%	105.7%	104.7%	104.2%	104.2%	101.9%	104.4%
客数	103.1%	103.6%	101.2%	101.1%	101.9%	100.3%	102.0%
客単価	102.3%	102.0%	103.5%	103.1%	102.3%	101.6%	102.4%

国内既存店 売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)



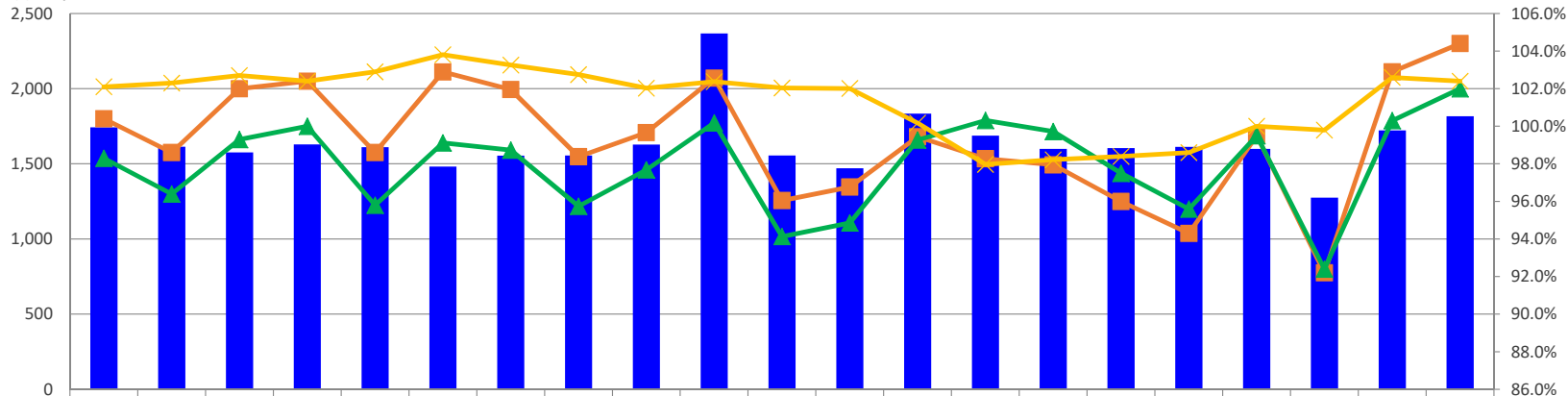
	2017年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月_	5月_	6月_	7月_	8月_	9月_	10月_	11月_
■ 売上高	2,405	2,259	2,234	2,297	2,340	2,213	2,260	2,228	2,268	3,260	2,222	2,078	2,593	2,406	2,323	2,352	2,365	2,392	2,019	2,434	2,539
■ 売上高	101.8%	100.2%	102.6%	104.1%	100.6%	104.9%	103.3%	100.0%	102.1%	103.8%	98.7%	98.8%	101.3%	100.2%	99.6%	98.8%	95.6%	100.8%	95.8%	103.0%	105.1%
■ 客数	99.8%	98.8%	100.8%	102.5%	99.7%	102.7%	101.0%	97.9%	100.5%	101.5%	96.7%	96.8%	100.1%	100.8%	99.9%	99.1%	95.7%	100.2%	96.2%	101.0%	103.2%
■ 客単価	102.0%	101.4%	101.7%	101.5%	100.9%	102.1%	102.3%	102.1%	101.6%	102.3%	102.1%	102.0%	101.2%	99.5%	99.7%	99.7%	99.8%	100.6%	99.6%	101.9%	101.8%

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q
売上高	101.5%	103.1%	101.7%	100.8%	100.4%	98.4%	101.5%
客数	99.8%	101.6%	99.8%	98.6%	100.3%	98.3%	100.2%
客単価	101.7%	101.5%	102.0%	102.3%	100.1%	100.0%	101.3%

国内飲食既存店 売上高・客数・客単価 前年同月比



(単位：百万円)

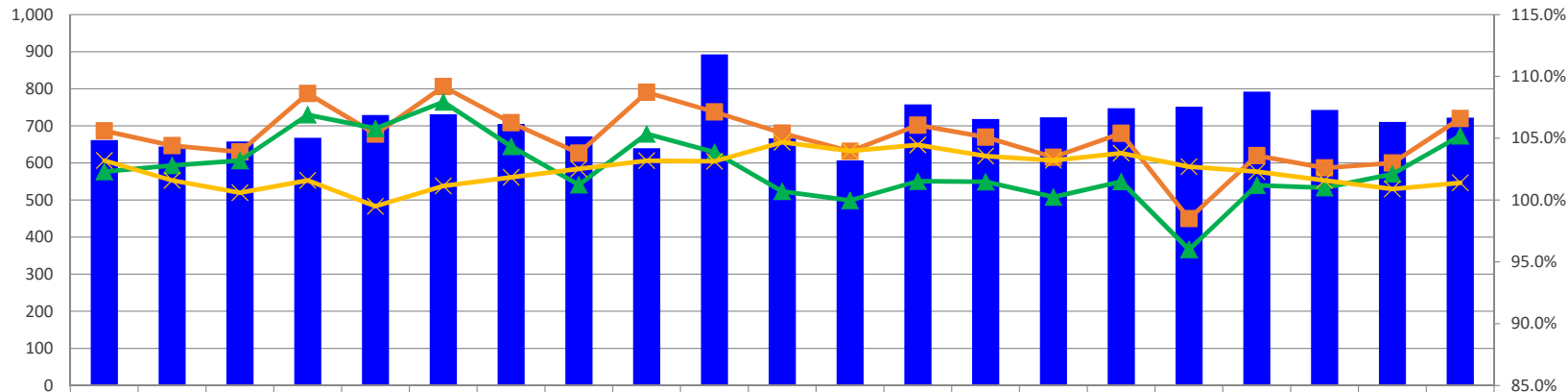


	2017年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月_	5月_	6月_	7月_	8月_	9月_	10月_	11月_
■ 売上高	1,743	1,614	1,576	1,629	1,611	1,482	1,555	1,556	1,628	2,367	1,555	1,470	1,835	1,688	1,600	1,605	1,613	1,600	1,275	1,723	1,816
■ 売上高	100.4%	98.6%	102.0%	102.4%	98.6%	102.9%	102.0%	98.4%	99.7%	102.6%	96.0%	96.8%	99.4%	98.3%	98.0%	96.0%	94.3%	99.5%	92.2%	102.9%	104.4%
■ 客数	98.3%	96.4%	99.3%	100.0%	95.8%	99.1%	98.7%	95.7%	97.7%	100.2%	94.1%	94.9%	99.3%	100.3%	99.7%	97.5%	95.6%	99.5%	92.4%	100.3%	102.0%
■ 客単価	102.1%	102.3%	102.7%	102.4%	102.9%	103.8%	103.3%	102.8%	102.0%	102.4%	102.0%	102.0%	100.2%	98.0%	98.2%	98.4%	98.6%	100.0%	99.8%	102.6%	102.4%

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q
売上高	100.3%	101.2%	100.0%	99.0%	98.6%	96.5%	100.4%
客数	98.0%	98.2%	97.4%	96.8%	99.8%	97.5%	98.5%
客単価	102.4%	103.0%	102.7%	102.3%	99.8%	99.0%	101.9%

国内アミューズメント既存店 売上高・客数・客単価 前年同月比

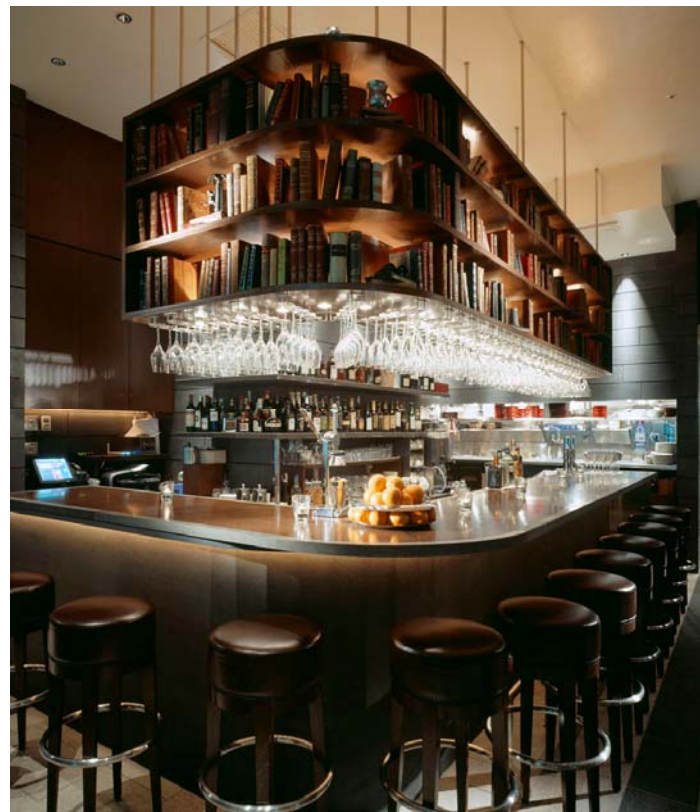
(単位：百万円)



	2017年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月_	5月_	6月_	7月_	8月_	9月_	10月_	11月_
■ 売上高	662	644	658	668	729	732	705	672	640	893	667	607	758	719	723	748	752	792	743	711	722
■ 売上高	105.6%	104.4%	103.9%	108.6%	105.3%	109.2%	106.3%	103.8%	108.7%	107.1%	105.4%	103.9%	106.1%	105.1%	103.5%	105.4%	98.5%	103.6%	102.6%	103.0%	106.6%
▲ 客数	102.3%	102.8%	103.2%	106.9%	105.8%	107.9%	104.3%	101.2%	105.4%	103.9%	100.7%	100.0%	101.5%	101.5%	100.2%	101.5%	96.0%	101.2%	101.0%	102.1%	105.2%
✦ 客単価	103.2%	101.6%	100.6%	101.6%	99.5%	101.1%	101.8%	102.5%	103.2%	103.1%	104.7%	104.0%	104.5%	103.6%	103.2%	103.8%	102.7%	102.3%	101.6%	100.9%	101.4%

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q
売上高	104.6%	107.7%	106.2%	105.7%	104.9%	102.4%	104.0%
客数	102.8%	106.9%	103.6%	101.7%	101.1%	99.5%	102.7%
客単価	101.8%	100.7%	102.5%	104.0%	103.8%	102.9%	101.3%

新規出店の状況

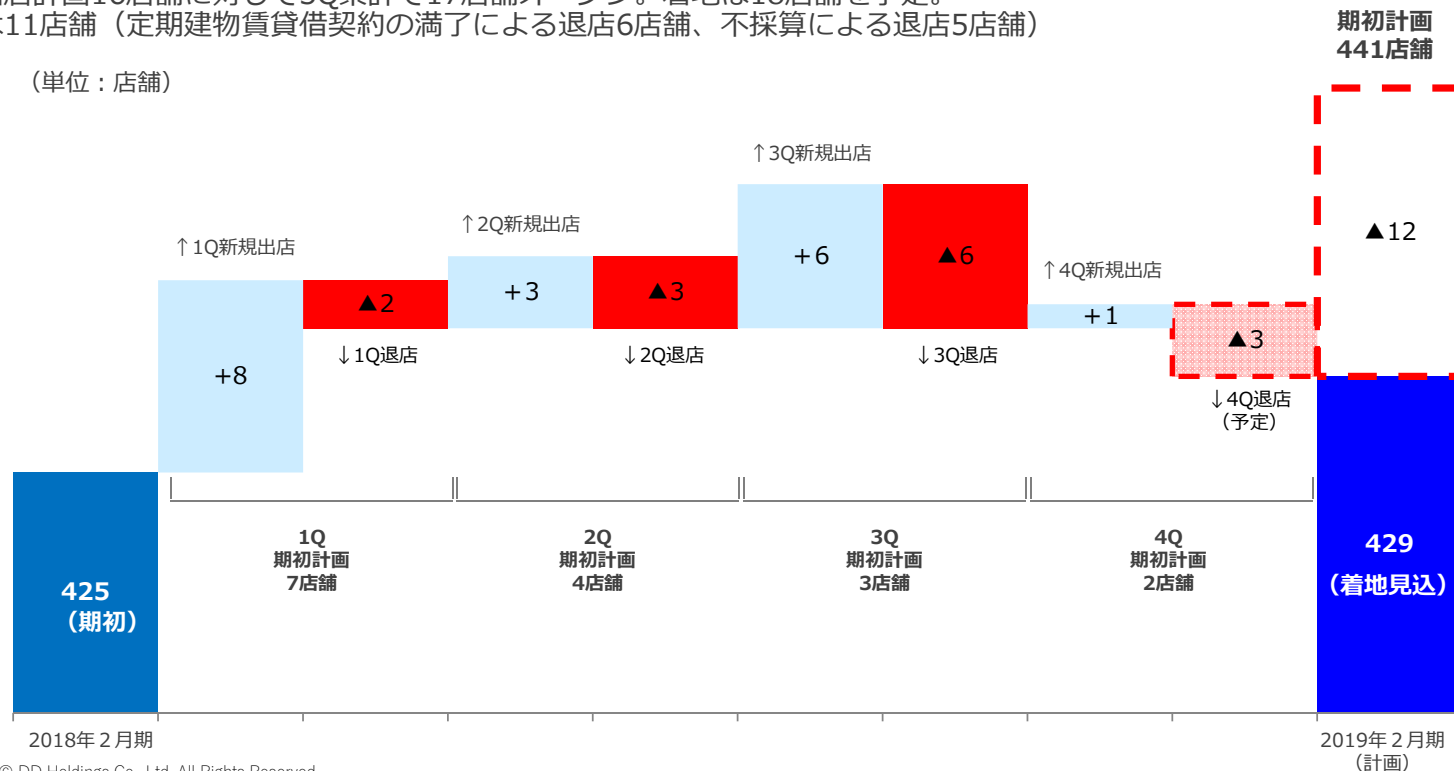


【orangé】

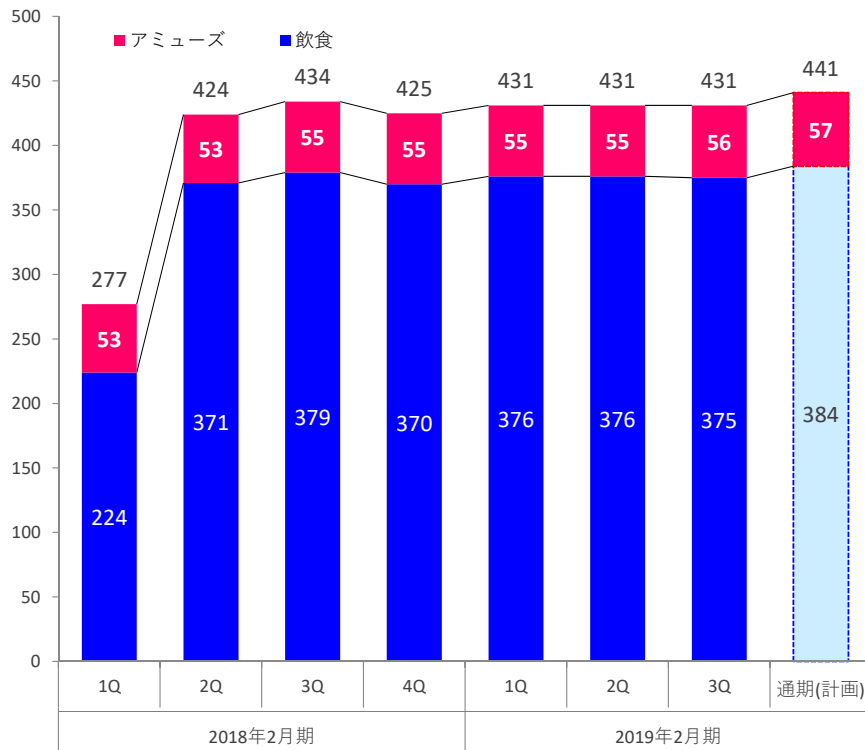
計画店舗数推移

今期出店計画16店舗に対して3Q累計で17店舗オープン。着地は18店舗を予定。
退店は11店舗（定期建物賃貸借契約の満了による退店6店舗、不採算による退店5店舗）

(単位：店舗)



店舗数推移



2019年2月期においては、国内14店舗、海外2店舗の新規出店合計16店舗の計画。3Qについては変動なし

【店舗数推移】

	1Q	2Q	中間期合計	3Q	4Q	通期合計
①新規出店	8	3	11	6		17
②業態変更	5	0	5	1		6
③退店	2	3	5	6		11
④純増店舗数 (①-③)	6	0	6	0		6

※注 上記直営店舗の他、LC7店舗、FC7店舗を運営しております。

出店ブランド紹介



【やきとり〇金】

60円～のやきとりとセルフドリンクバーをお楽しみいただける焼鳥店



【九州熱中屋】

コンセプトはサバと餃子の旨い店
活サバや九州の美味しい料理を集めた九州料理専門店



【ZIGU(ジグ)】

コンセプトは「EAT LOCAL」
ハワイの食材を心行くまで堪能できる
和食レストラン&バー



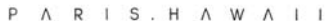
【薩摩ぞかもん】

趣のある蔵元個室で九州味巡りが楽しめる郷土料理専門店



【WINEHALL GLAMOUR】

「ワインホールグラマー」
自慢のグリル料理をソムリエ厳選のワインと一緒に堪能できる肉バル



【PARIS.HAWAII(パリハワイ)】

ハワイの食材をフレンチの伝統的技法で創り出す地産地消を目指したアイランドフレンチレストラン



【ハレ千葉BBQテラス】

商業施設の屋上テラスなどを利用した期間限定営業のビアガーデン【期間限定】



【GLASS DANCE(グラスダンス)】

世界のビールとグリル料理が楽しめるラウンジ&バー



【DON CONA CONERY】

「ドンコナ コネリー」
窯で焼き上げる本格ナポリピッツァが自慢のカジュアルイタリアン



【ALPHA TABLE(アロハテーブル)】

ワイキキに本店を構えアイランド・カルチャーライフスタイルを提案するハワイアンカフェ&ダイニング



【chano-ma (チャノマ)】

21世紀の茶の間をコンセプトにベットを利用した小上がり空間で家庭料理がコンセプトの料理を堪能できるカフェダイニング



【Pieee Parlor Parisien】

「パイ パーラー パリジャン」
ここでしか出会えないたくさんの味が楽しめるパイ専門店

新規ブランド紹介①



ZIGU 

【ZIGU (ジグ)】(2018年5月14日オープン)

店名である「ZIGU (ジグ)」の言葉の由来は、店のコンセプトである「EAT LOCAL」(地産地消)を、「地(ZI)を喰らう(GU)」と、和の音に置き換えました。
ハワイの食材を心ゆくまで味わえる、今までにない和食レストラン&バーとなります。



P A R I S . H A W A I I

【HISTORICAL APARTMENT】

ワイキキ、クヒオ通りとシーサイドアベニューの交差点を、アラワイ運河側に入ったロケーション。1939年に建てられた、歴史的建造物指定の建物を当時の面影を残しつつリノベート。先だってオープンしたZIGUの二階に位置する隠れ家的空間です。

【PARIS.HAWAII (パリ ハワイ)】(2018年8月28日オープン)

「ZIGU」の2階に位置する隠れ家的空間で、本場パリの老舗ビストロ店舗でスーシェフとして活躍した山中祐哉シェフが創り出す
ハワイの豊かな自然に育まれた食材による地産地消を目指したアイランドフレンチを堪能できるレストランとなります。



NOVEL

SHINSAIBASHI

[NOVEL SHINSAIBASHI (ノヴェル シンサイバシ)] (2019年1月開業)

「CELEBRATING DIVERCITY-多様性を祝う-」がコンセプト。

様々な人々が繰り広げるドラマのような日常がある大阪・心斎橋に今までの業界の常識を覆す自由度の高いウェディングステージ「NOVEL SHINSAIBASHI」が誕生いたします。

形容詞では“目新しい・奇抜な”の意味を持つ「NOVEL」という言葉を、誰しもが幼い頃、遊園地で感じた高揚感を主役とゲストが感じ得る場所として施設名称となります。

2017年9月に開業したウェディング施設第1号店「京都祝言」が大事にしている“OKIMOCCHI”の考え方はそのままに、サービスの仕方を変化させウェディング業界のみならず新しい分野へのイノベーションと新しい世代へのアプローチを行う新しいウェディング施設になります。



[Piee Parlor Parisien (パイ パーラー パリジャン)] (2018年11月開店)

「ここでしか出会えない、たくさんの味が楽しめるパイのお店」がコンセプト。

アップルパイをはじめ、デザートにピッタリの旬のフルーツやクリームを使用したパイや、食事の代わりになるセイボリーパイ（惣菜パイ）まで、バリエーション豊かなパイをお召し上がりいただける店舗となっております。シンプルでモダンな店内に広島を街を見渡せる開放感のあるお席をご用意し、居心地のよい空間でお食事をお楽しみいただけます。

広島PARCO本館の1階に位置し、毎日食べにきていただいても飽きさせない多種多様なパイをご提供する新ブランドになります。



(ご参考) カテゴリー別展開方針

カテゴリー

展開方針

	カテゴリー	展開方針	
飲食事業	国内	飲食事業	首都圏を中心に居酒屋・ダイニング・カフェなど様々な店舗を展開。今期においては従前どおり既存ブランドのブラッシュアップを行いながら、業容拡大並びに更なるポートフォリオ拡充のための業態開発に注力。期初計画、12店舗新規出店（10店舗オープン済）を計画。
		ビアガーデン	(株)ゼットンにて8月末時点で10店舗運営。天候に左右されやすいため、今後も雨天に強く安定的な利益貢献ができる店舗運営へ取り組む方針。新規出店についても高い収益性が見込まれる立地のみを厳選。期初計画、1店舗新規出店を計画しオープン済。
		ウェディング	グループ全体において8月末時点で6施設10店舗を運営(ウェディング施設に付随するレストラン店舗などを含む)。前期においては(株)The Sailingにて「京都祝言」を開業。期初計画、今期新規出店計画はなしであったが、大阪・心斎橋に「NOVEL SHINSAIBASHI」を1月に開業済。
	海外	海外飲食	全店舗ハワイにて展開。2018年5月に和食&レストランバー「ZIGU」、8月に「PARIS.HAWAII」を出店。今期は全店黒字化に向けて、コラボに取り組むなど営業活動の見直し・ブラッシュアップを行う方針。今期2店舗の期初計画通り、「ZIGU」「PARIS.HAWAII」をオープン済。

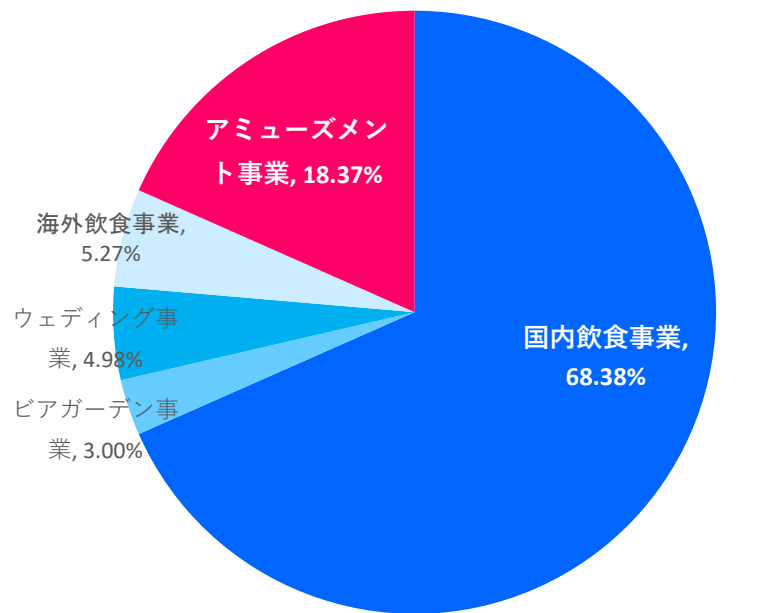
アミューズメント事業

ビリヤード・ダーツ・カラオケ事業、インターネットカフェ事業、「KAWAII MONSTER CAFE HARAJUKU」の運営に加え、昨年よりカプセルホテル事業に参入。厳選した立地のみ出店を行い、今後さらなる収益性向上を目指す。期初計画、2店舗新規出店を計画（1店舗オープン済）。2018年9月にカプセルホテル「GLANSIT KYOTO KAWARAMACHI~CONFORT CAPSULE HOTEL ~」をオープン済。

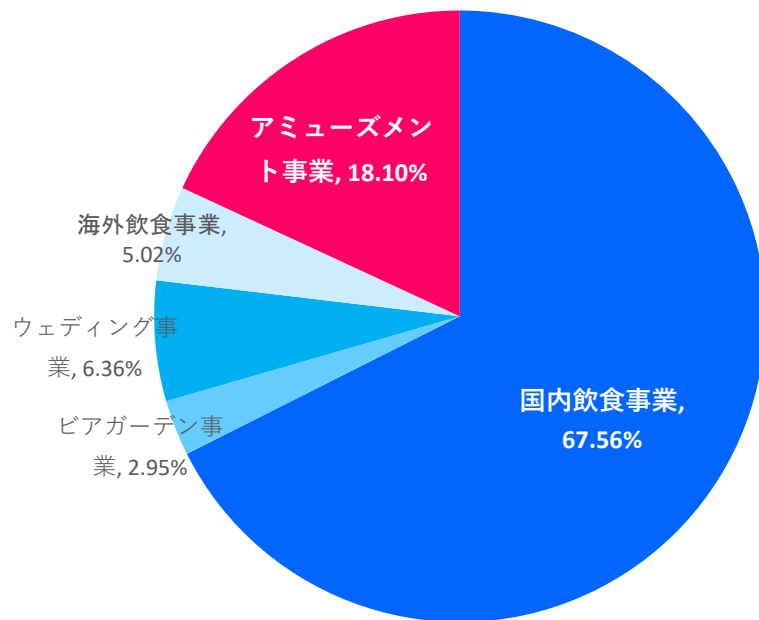
(ご参考) カテゴリー別売上高比率

前期のM&A及びグループ出店により、「ビアガーデン」「ウェディング」事業の売上高構成比が9.31%続伸。

構成比
(2018年2月期3Q)



構成比
(2019月年2月期3Q)



トピックス



【chano-ma 中目黒】

DD POINT の状況

グループ全体で「DD POINT」のシステム対応を進め、当第3四半期末で448店舗で利用可能。



グループ会社	2017.11月末時点	2018.11月末時点
ダイヤモンドダイニング	○	○
ゴールデンマジック	○	○
バグース	○	○
ゼットン	○	○
商業藝術	-	○
エスエルディー	-	○ ※注2

合計448店舗

※注1 一部店舗ではご利用いただけません。

※注2 エスエルディー店舗は2018年9月よりポイントの使用のサービスがスタートしておりますが、付与につきましては決定次第お知らせいたします。

主な外部コラボレーション



吉本興業株式会社社員食堂
「Munch Lunch (マンチ ランチ)」をプロデュース

店舗名「Munch Lunch」にはモグモグ食べるという意味があります。食事の時間が不規則になりがちな吉本興業で働く人々が、決まった時間にご飯を食べられる場所。栄養バランスの良い、温かい、おいしいものが食べられて、ごはんで元気に健康になれる食堂。打合せや収録、取材などで来た芸人さん、普段は地方事務所で働く社員が、東京本部に来たら立ち寄りたくなる食堂を目指されます。



映画「熱狂宣言」との期間限定コラボレーション

吉本興業株式会社のグループ会社であります「株式会社KATSU-do」配給の映画「熱狂宣言」のポップアップストアを2018年10月19日（金）にオープン。
（ダイヤモンドダイニング運営店舗「GLASS DANCE Roppongi」にて期間限定）

会社概要



【KAWAII MONSTER CAFE HARAJUKU】

会社概要 (2018年11月末日現在)



- ◆ 商号 株式会社DDホールディングス (旧商号：株式会社ダイヤモンドダイニング)
- ◆ 上場市場 東京証券取引所 市場第一部
- ◆ 証券コード 3073
- ◆ 本社所在地 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル18F
- ◆ 設立 1996年3月 (平成8年)
- ◆ 資本金 6億9,938万円
- ◆ 発行済株式数 7,821,360株 (注) 2018年11月末日現在
- ◆ 決算 2月末日
- ◆ 代表者名 松村 厚久
- ◆ 従業員数 連結 9,305名 (正社員 1,769名・パートナー (平均) 7,536名)
- ◆ グループ会社
 - ・ 連結子会社数 : 16社
 - ・ 非連結子会社数 : 3社
 - ・ 持分法適用関連会社数 : 1社
- ◆ 監査法人 太陽有限責任監査法人
- ◆ 事業内容 飲食事業 (居酒屋・レストラン等)、海外飲食事業
アミューズメント事業 (ビリヤード・ダーツ・複合カフェ等)、ウェディング事業、カプセルホテル事業

世界に誇る 「オープンイノベーション企業」

Dynamic & *Dramatic*

大胆かつ劇的に行動する



SUN POOL GOLDEN MAGIC

zetton
inc

株式会社 商業藝術

THE SAILING
TO THE WORLD
YOU'VE NEVER BEEN

BAGUS

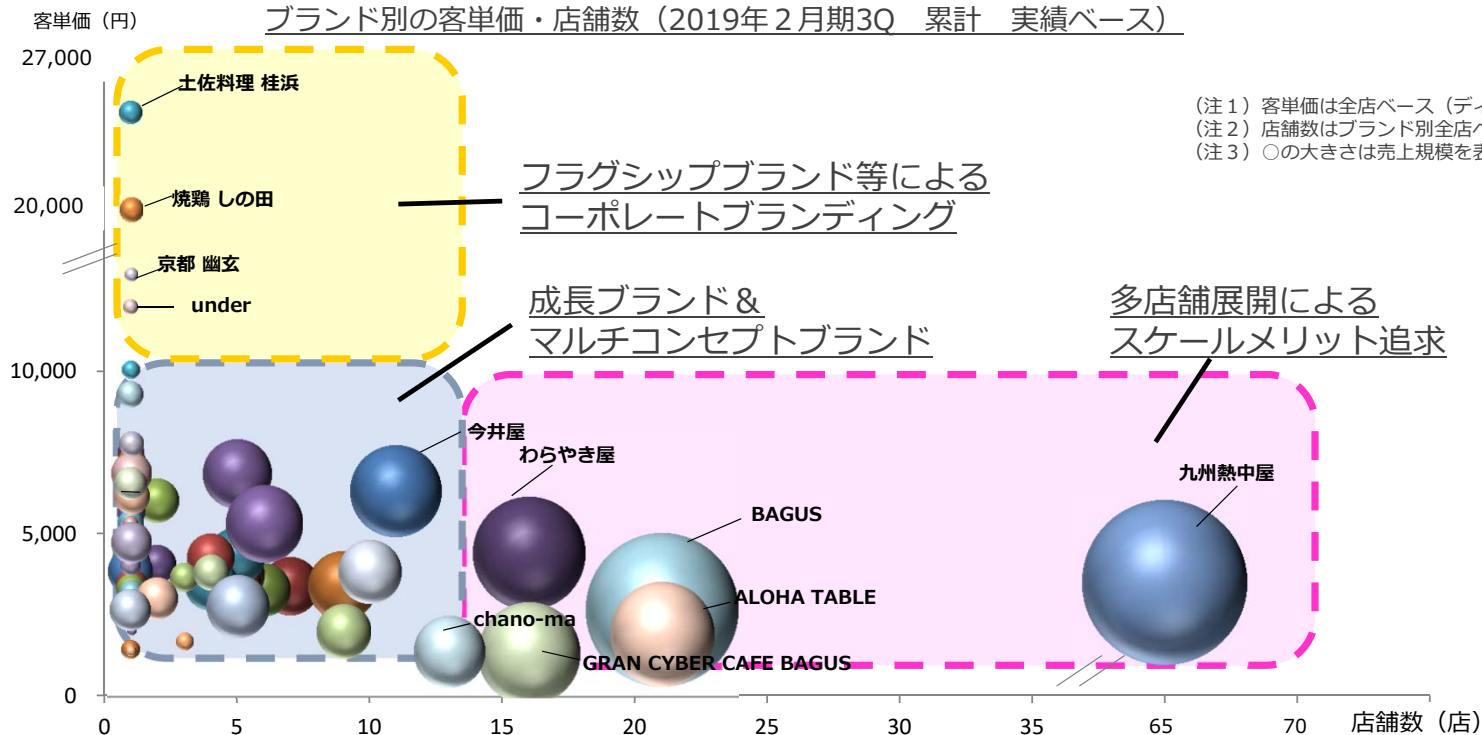
 Diamond Dining
International Corporation

 SLU ENTERTAINMENT INC.
(持分法適用関連会社)

(ご参考) ブランドポートフォリオ

ブランドポートフォリオを明確化することにより、あらゆるリスクを回避

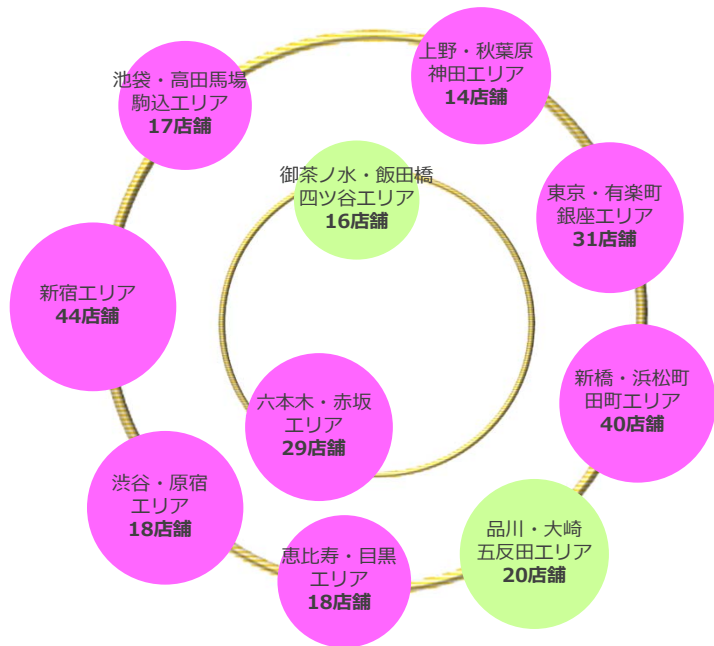
ブランド別の客単価・店舗数 (2019年2月期3Q 累計 実績ベース)



- (注1) 客単価は全店ベース (ディナーのみ)
- (注2) 店舗数はブランド別全店ベース
- (注3) ○の大きさは売上規模を表す

山手線沿線出店状況 -ドミナント戦略-

山手線沿線出店状況(2018年11月末現在)



山手線沿線内出店数

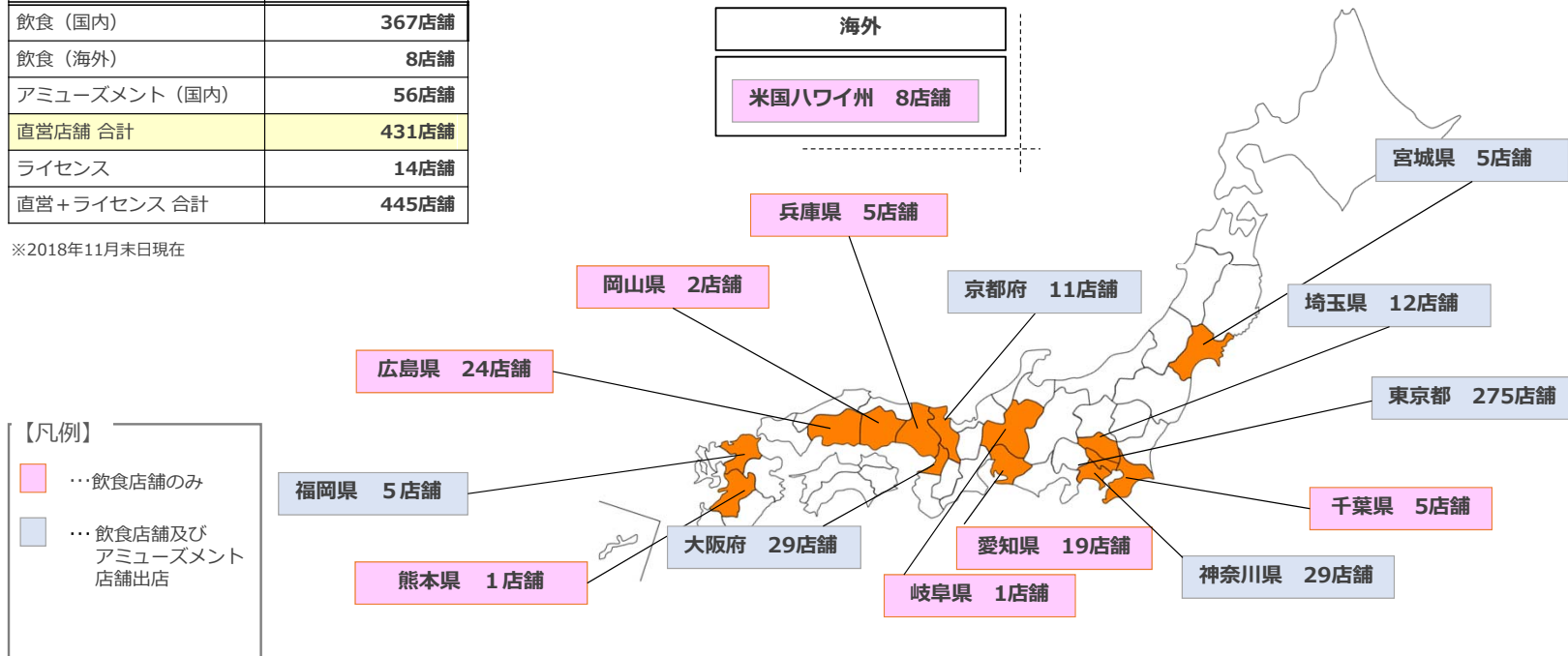
合計247店舗

【凡例】 ● …飲食店舗とアミューズメント店舗がドミナント ● …飲食店舗のみ

■店舗数

属性	店舗数
飲食（国内）	367店舗
飲食（海外）	8店舗
アミューズメント（国内）	56店舗
直営店舗 合計	431店舗
ライセンス	14店舗
直営+ライセンス 合計	445店舗

※2018年11月末日現在



【凡例】

- … 飲食店舗のみ
- … 飲食店舗及びアミューズメント店舗出店

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

お問合せ先

グループ経営企画本部 IR部

T E L : 03-6858-6082

F A X : 03-6858-6083

E-mail : ir@dd-holdings.com



DD HOLDINGS